

# 日本図書館情報学会会報

No. 185

2021年6月

日本図書館情報学会事務局  
〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1  
相模女子大学 金井喜一郎研究室  
(事務局業務に関する問合せ先)  
(株)ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会  
E-mail : [office@jslis.jp](mailto:office@jslis.jp) 学会ウェブページ : <http://www.jslis.jp/>  
ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会  
ゆうちょ銀行019店 口座番号=当座0045759 口座名義=日本図書館情報学会

## 定例（通信）総会の実施にあたって

会長 岸田 和明

2021年度の定例(通信)総会を実施いたします。議案は四つで、いずれも、本学会の運営における重要議案ばかりです。慎重なご審議をどうぞよろしくお願い申し上げます。

第一号議案は2020年度事業報告・事業監査報告で、第二号議案はそれに対応する決算報告・会計監査報告です。2019年度から2020年度への繰越金が5,961,409円だったのに対して、2021年度への繰越金は9,354,040円に増えました。昨年度の決算時でも増加傾向にはあったわけですが、これはおそらく、正会員の会費額改定が影響したと考えられます。一方、今年度の場合には、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学会活動が一部制限され、予定通りの支出ができなかったことが主な原因です。やむを得ないこととはいえ、この繰越金の活用を検討するよう、監事の先生方には指摘を受けています（事業監査および会計監査におけるご意見につきましては、第四号議案の後に掲載しております）。

第三号議案と第四号議案は、2021年度の事業計画案とそれを実施するための予算案となります。第三号議案に関しては、基本的には、2020年度での事業計画から大きな変化はありませんが、第四号議案を含めて繰越金の活用をいくつか盛り込んでおります。まず、昨年度にはなかった事業として、『日本図書館学会年報』掲載論文の遡及的な電子化を計画しました。ご存じの通り、旧『日本図書館学会年報』の論文PDFファイルはすでに一部利用可能となっていますが、さらにこれを進める予定です。また、予算案をご覧いただければわかるように、研究助成費・表彰事業費・コロナ禍対策事業費について、予算を増額しました。その結果としての予備費は7,638,231円であり、多少なりとも、繰越金を活用する予算案となっています。

昨年度の定例(通信)総会の際には、「今後、収支構造を分析し、学会会計について検討していく必要がある」と書かせていただきましたが、コロナ禍終息ののちの学会活動をも念頭に置きつつ、今年度引き続き、検討を進めてまいります。この際には、「持続可能な」学会に向けて、学会事務局の負担軽減についても考慮に含めたいと思っている次第です。

以上、定例(通信)総会を実施するにあたり、会長として議案の骨子と背景を記しました。会員のみなさ

まには、それぞれの議案をご精査いただきますよう、お願い申し上げます。また、本学会の運営に対して、忌憚のないご意見ならびにご助言をたまわれれば幸いに存じます。

## 2019年度決算報告の一部訂正について

日本図書館情報学会会報 No.181 (2020年6月)に掲載した「2019年度決算報告」の一部に誤りがございました。「収入の部」および「支出の部」の基準日が「2019/3/31 現在」となっていますが、正しくは「2020/3/31 現在」です。ここに深くお詫びして、訂正させていただきます。

(常任理事会)

## 2021年度定例（通信）総会

正会員各位

会長 岸田 和明

2021年度定例（通信）総会として、以下の議案の可否につきまして、電子投票にて投票をお願いいたします（事前に郵送投票の申込みをされた方は、別送する往復はがきでの郵送投票も可能です）。投票方法の詳細については、同封の案内をご覧ください。なお、総会は正会員によって構成されるため、学生会員、団体会員、賛助会員の皆様には、案内は同封しておりません。

投票期日： 2021年6月30日(水)（郵送は当日消印有効，電子投票は23:59 まで有効）

議 題： 第一号議案 2020年度事業報告・事業監査報告

第二号議案 2020年度決算報告・会計監査報告

第三号議案 2021年度事業計画案

第四号議案 2021年度予算案

### 第一号議案 2020年度事業報告・事業監査報告

#### 1. 運営事業

##### (1) 定例（通信）総会の開催

投票締切日を2020年6月30日として定例（通信）総会を実施し、有権者数632に対し、投票総数193、有効投票数193であった。投票の結果、全議案は成立した。投票は電子および郵送（事前申請に基づく）によった。

##### (2) 理事会・常任理事会の開催

会務執行のため、下記のように開催した。

###### 1) 理事会

第1回 2020年5月16日（土）

オンライン開催

第2回 2020年9月13日（日）

オンライン開催

臨時 2020年10月19日（月）～20日（火）

メールによる持ち回り

###### 2) 常任理事会

第1回 2020年4月18日（土）

オンライン開催

第2回 2020年7月11日(土)	オンライン開催
第3回 2020年9月6日(日)	オンライン開催
臨時 2020年10月16日(金)	メールによる持ち回り
第4回 2020年11月1日(日)	オンライン開催
第5回 2021年1月30日(日)	オンライン開催

(3) 会員集会の開催

正会員・学生会員からの意見を聴く機会として、2020年10月4日(日)にオンラインで会員集会を開催した。

(4) 規程・内規等の改正・整備

「役員の旅費支給に関する内規」および「学会賞選考委員会内規」、また学会誌の「投稿規程」と「掲載原稿および審査に関するルール」を改正した。

(5) 委員会の開催

下記の委員会日程の他、各委員会ともにメールによる審議・協議を随時行った。

1) 学会賞選考委員会

第1回 2020年7月19日(日)	オンライン開催
第2回 2020年7月29日(水)	オンライン開催
第3回 2020年8月26日(水)	オンライン開催

2) 編集委員会

第1回 2020年5月17日(日)	オンライン開催
第2回 2021年3月8日(月)	オンライン開催

3) 研究委員会

第1回 2020年5月23日(土)	オンライン開催
第2回 2020年12月18日(金)	オンライン開催

4) 総務委員会

第1回(会報引き継ぎ会合) 2020年4月6日(月) 白百合女子大学

5) 『図書館情報学事典』(仮称) 編集委員会

第2回 幹事会 2020年5月10日(日)	オンライン開催
第3回 幹事会 2020年7月5日(日)	オンライン開催
第1回 委員会 2020年8月23日(日)	オンライン開催
第2回 委員会 2020年10月11日(日)	オンライン開催

6) 『図書館情報学用語辞典』第5版編集委員会

開催なし。

7) 図書館情報学教育に資する事業ワーキンググループ

開催なし。

(6) 会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.180(2020年4月), No.181(同年6月), No.182(同年9月), No.183(2021年2月)を発行した(印刷版郵送・PDF版メール配信)。

(7) 図書館情報学教育に資する事業の計画策定・遂行

コロナ禍の状況のため、シンポジウム開催を見送った。

(8) 学会広報の推進

学会サイトの管理・更新(会報・メールマガジンの掲載を含む)、メールマガジンの発行などを進め

た。

(9) 事務局業務の一部委託

会員管理，会費管理，発送業務等，事務局業務の一部ならびに定例（通信）総会の電子投票システムを株式会社ガリレオへ委託した。

(10) 学会活動への貢献に対する感謝状の贈呈

本年度は対象者がいなかった。

(11) コロナ禍対策事業

全学生会員（59名）およびコロナ禍により経済的に困窮している旨の申請のあった正会員（4名）に対して会費（全額）を補助した。

## 2. 研究促進事業

(1) 第68回研究大会の開催

第68回日本図書館情報学会研究大会を2020年10月3日（土），4日（日）にオンラインで開催した。研究発表は21件（申請22件，辞退1件），ポスター発表5件で参加者は202名（案内メール発送数）であった。

(2) 研究大会におけるシンポジウム開催

コロナ禍により中止とした。

(3) 2020年度春季研究集会の開催

2020年度春季研究集会を2020年6月6日（土）にオンラインで開催した。研究発表は12件（申請13件，辞退1件）で，参加者は146名（当日のZoom登録者数）であった。

(4) 研究助成の募集・交付

- ・研究助成の募集を行い，審議の結果，以下の2件に対して研究助成を行った。  
中園長新（東京福祉大学）「高等学校情報科において学校図書館を活用したモデルカリキュラムの開発：理論と実践の往還を通して」  
劉倩秀（筑波大学大学院）「情報リテラシー教育のオンライン化に関する研究－米中比較を中心に－」
- ・2018年度に研究助成を交付した者については研究助成の要件を満たしているかどうかを調査し必要に応じて対応した。

(5) 研究発表，研究交流促進のための助成

春季研究集会および研究大会がオンライン開催であったため，交通費の一部補助は行わなかった。

## 3. 刊行事業

(1) 『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第66巻第2号（2020年6月），同第3号（同年9月），同第4号（同年12月），第67巻第1号（2021年3月）を発行した。

(2) J-STAGEによる『日本図書館情報学会誌』の提供

『日本図書館情報学会誌』について，J-STAGEを通じて提供した。『日本図書館情報学会誌』（1999年～2018年）および『図書館学会年報』（1997年～1998年）のオープンアクセスでの提供を行なった。

(3) 『図書館情報学用語辞典』第5版の刊行

2020年8月に丸善出版から『図書館情報学用語辞典』第5版を刊行した（初版部数2,000部，本

体価格 3,800 円 (+税))。訂正記事を『日本図書館情報学会会報』No.183 に掲載した。

(4) 『図書館情報学事典』(仮称) 刊行に向けた準備

2020 年 3 月に編集準備幹事会を編集幹事会に引き継ぎ、8 月に編集幹事会メンバー 7 名と編集委員 10 名からなる『図書館情報学事典』編集委員会を組織した。10 の部門および 287 項目、執筆要綱の検討を進め、項目執筆者の選定・依頼を行った。

(5) 出版事業の在り方の検討

研究委員会における出版事業の在り方の検討は、次年度に先送りすることとした。

#### 4. 表彰事業

(1) 日本図書館情報学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

表彰内規に基づき、日本図書館情報学会賞、論文賞、奨励賞の選考を行い、以下の者とその著作等に対して授与した。

- 1) 学会賞 浅石卓真(南山大学)『教科書の中の知識:テキストの計量情報学的分析』樹村房, 2020, 191p.
- 2) 論文賞 武田将季(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科)「キュレーションされた情報の利用に関する研究:瞬目解析に基づく情報処理の分析」『日本図書館情報学会誌』vol. 65, no. 2, 2019, p. 67-83.
- 3) 奨励賞 新居池津子(東京大学大学院教育学研究科)「昼休み時間を過ごす中学生から捉える学校図書館の機能—書架によって創出される場所における居方に着目して—」『日本図書館情報学会誌』vol. 66, no. 1, 2020, p. 1-18.

(2) 優秀発表奨励賞の選考・授与

2020 年度春季研究集会、第 68 回研究大会における口頭発表について、研究内容・発表技法という観点から優秀発表奨励賞の選考を実施した。審査の結果、以下の通りとした。

1) 2020 年度春季研究集会

阿久津達矢(慶應義塾大学大学院)「患者図書室による健康医療情報サービス:病院による公開講座での資料展示の実践を事例として」

2) 第 68 回研究大会

鈴木一生(筑波大学大学院)「米国における特別目的政府による公共図書館経営の理論的基盤」

矢田竣太郎(奈良先端科学技術大学院大学)「学校図書館による教材提供を支援する図書選定システムの提案とユーザインタフェースの予備的評価」

#### 5. 連携・協力事業

(1) 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう、関係機関・諸団体との連携・協力を進め、後援依頼への対応を行った。

(2) 関連の会議情報等の周知

図書館情報学関連の会議情報等を学会のメールマガジンに掲載した。

#### 6. その他

(1) 声明の公表

「日本学術会議」の会員候補のうち一部の任命が拒否された問題に対して、「日本図書館情報学会・理事会」名で学会公式ホームページに声明を公表した。

## 2020年度 事業監査報告

事業監査の結果、学会活動が適正に運営され、活動計画が適切に行われていることを報告いたします。

2021年5月5日 監事 田村俊作

2021年5月5日 監事 山本順一

### 第二号議案 2020年度決算報告・会計監査報告

#### 1. 2020年度決算報告

(収入の部) クレジット件数、会費、全て2021/3/31現在

項目	予算(円)	実績(円)	達成率	前年度決算	備考
1 会費					
正会員	5,909,000	5,110,500	86.5%	5,095,500	8,000円×郵便振替455件(うち1件は補助対象のため後日返金)+6,000円×郵便振替1件+5,000円×郵便振替14件+3,000円×郵便振替9件+8,000円×クレジット決済154件+6,000円×クレジット決済1件+5,000円×クレジット決済16件+9,500円×海外居住者クレジット決済1件+8,000円×銀行振込1件+8,000円×会費補助4件
学生会員	130,000	136,000	104.6%	129,000	2,000円×会費補助59件+2,000円×クレジット決済4件(うち1件は会費補助対象のため後日返金)+2,000円×郵便振替5件(うち3件は会費補助対象のため後日返金)
団体会員	630,000	630,000	100.0%	630,000	15,000円×郵便振替14件+15,000円×銀行振込28件
賛助会員	100,000	150,000	150.0%	100,000	50,000円×銀行振込2件+50,000円×クレジット決済1件
入会金	-	16,000		29,000	1,000円×郵便振替8件+1,000円×クレジット決済8件
2 広告料	207,000	190,000	91.8%	319,000	30,000円×3件, 25,000円×4件
3 学会誌売上金	1,514,100	1,430,100	94.5%	1,446,900	66(1)~66(4)4巻セット(814,800円), 66(1)単体分(155,400円), 66(2)単体分(153,300円), 66(3)単体分(153,300円), 66(4)単体分(153,300円)
4 印税	105,800	728,322	688.4%	319,237	図書館情報学用語辞典第4版印税(96,731円), わかるシリーズ第1巻印税(9,859円), 分かるシリーズ第2巻印税(4,203円), わかるシリーズ第3巻印税(5,334円), わかるシリーズ第4巻印税(3,071円), わかるシリーズ第5巻印税(16,324円), 図書館情報学用語辞典第5版印税(592,800円)
5 春季研究集会収入	5,000	17,000	340.0%	255,520	参加費(非会員16名:16,000円), 発表論文集購入(非会員1名:1,000円)

6 雑収入	11	64,635	587590.9%	6,701	利息(21円), 超過出金額の戻入(340円), 2019年度発行の会報 no.178, 179 に関わる発送費(立替郵便料金) 過払い分の返金(50,274円), 研究大会非会員参加費 14名(14,000円)
7 前年度繰越金	5,961,409	5,961,409	-	4,525,287	
合計	14,562,320	14,433,966	99.1%	12,856,145	

繰越金除く収入合計

8,472,557

8,330,858

## (支出の部)

2021/3/31 現在

項目	予算(円)	実績(円)	進捗率	前年度決算	備考
1 運営事業費					
理事会・常任理事会 開催費	506,000	158,000	31.2%	764,180	日当(158,000円)
会計監査実施費	54,942	48,872	89.0%	61,980	日当(10,000円), 交通費(29,280円), 会場レンタル費(9,592円)
委員会開催費					
研究委員会	104,660	37,990	36.3%	105,674	日当(36,000円), 通信費(1,990円)
編集委員会	216,480	61,990	28.6%	81,534	日当(32,000円), 査読謝礼(7,000円×2件), 通信費(4,440円), 書評用図書2冊(11,550円)
学会賞選考委員会	107,220	18,000	16.8%	6,000	日当(18,000円)
総務委員会	18,140	16,920	93.3%	9,220	日当(6,000円), 交通費(1,700円), サーバーレンタル代金(5,238円), ドメイン維持費(3,982円)
図書館情報教育に資する 事業ワーキンググループ (学会国際化事業ワーキ ンググループ)	100,000 -	0 -	0.0% -	0 9,313	支出なし (2020年度事業計画なし)
『図書館情報学用語辞 典』第5版編集委員会	5,000	25,975	519.5%	0	『図書館情報学用語辞典第5版』編集委員会分5冊購入(16,720円), 通信費(9,255円:著者献本用)
『図書館情報学事典』(仮 称)編集委員会 (選挙管理委員会)	118,000 -	92,000 -	78.0% -	186,080 68,692	日当(92,000円) (2020年度事業計画なし)
会報発行費	764,000	696,366	91.1%	1,213,089	会報印刷費(No. 180:55,000円+No. 181:110,000円+No. 182:91,300円+No. 183:58,300円), 同封資料印刷費(No. 180:16,500円+No. 181:22,000円), 封筒制作費(No. 180:18,150円+No. 181:18,040円+No. 182:18,040円), 発送業務委託費(No. 180:18,672円+No. 181:18,150円+No. 182:18,287円+No. 183:18,425円), 通信費(No. 180:50,239円+No. 181:70,360円+No. 182:47,218円+No. 183:47,685円)
事務局運営費	1,524,160	1,416,176	92.9%	1,454,299	業務委託費(1,163,571円), 会費クレジット決済手数料(56,898円), 振込手数料(48,720円),

					消耗品(12,583 円), 通信費(36,448 円), 雑費[会費返金等](22,076 円), 収入印紙(200 円) アルバイト料(19,800 円), 日当[会場校挨拶](2,000 円), 交通費(53,880 円) 正会員会費補助 8,000 円×4 名, 学生会員会費補助 2,000 円×59 名
コロナ禍対策事業費	370,000	150,000	40.5%	0	
2 研究促進事業費					
研究大会開催費	300,000	36,628	12.2%	300,000	ウェブ会議システム Zoom 利用料
研究大会シンポジウム開催費	98,000	0	0.0%	77,650	開催せず
春季研究集会開催費	40,000	18,871	47.2%	188,749	ウェブ会議システム Zoom 利用料
研究助成費	750,000	471,663	62.9%	600,000	研究助成 2 件
3 刊行事業費					
学会誌発行費	1,752,968	1,612,765	92.0%	1,698,213	学会誌印刷費(1,122,263 円:66 巻 2 号(24 頁)が 149,635 円, 66 巻 3 号(34 頁)が 211,983 円, 66 巻 4 号(48 頁)が 299,270 円, 67 巻 1 号(74 頁)が 461,375 円), J-STAGE 搭載業務委託費(72,600 円), 発送業務委託費(184,751 円:視覚障害者向け PDF メール送信費用含む), 通信費(195,990 円), 封筒作成費(37,161 円)
4 表彰事業費					
学会賞等副賞・賞状作成費	220,000	216,500	98.4%	70,063	副賞(学会賞 1 件 100,000 円, 論文賞 1 件 50,000 円, 奨励賞 1 件 50,000 円), 賞状作成費(16,500 円)
5 予備費	7,512,750	1,210	0.0%	0	選挙管理委員会資料送料(前委員長→現委員長)
翌年度への繰越金	-	9,354,040	-	5,961,409	参考:2018 年度繰越金 4,525,287 円
合計	14,562,320	14,433,966		12,856,145	

予備費・繰越金除く支出合計 7,049,570 5,079,926 6,894,736

## 2020 年度 会計監査報告

会計監査の結果, 予算に基づき, 会計が適正に執行され, 支払いが適正に処理され, 決算報告書が適正に作成されていることを報告します。

2021 年 5 月 5 日 監事 田村俊作

2021 年 5 月 5 日 監事 山本順一

## 第三号議案 2021 年度事業計画案

### 1. 運営事業

#### (1) 定例(通信)総会の開催

投票締切日を 2021 年 6 月 30 日として定例(通信)総会を実施する。投票は電子(事前申請すれば

郵送も可) による。

(2) 理事会・常任理事会の開催

下記の予定で、理事会・常任理事会を開催する。

1) 理事会

第1回 2021年5月16日(日) オンライン開催

第2回 2021年9月26日(日) 未定

2) 常任理事会

第1回 2021年4月25日(土) オンライン開催

第2回 2021年7月11日(日) オンライン開催

第3回 2021年9月12日(日) オンライン開催

第4回 2021年11月21日(日) オンライン開催

第5回 2022年1月8日(土) 未定

(3) 会員集会の開催

正会員・学生会員からの意見を聴く機会として、2021年10月17日(日)に熊本学園大学(熊本県熊本市)を会場として会員集会を開催する。

(4) 規程・内規等の改正・整備

規程・内規等に関する整備を進める。特に、「入退・退会に関する内規」の見直しを行う。

(5) 委員会の開催

下記の予定で、委員会・ワーキンググループを開催する。適宜メールによる審議・協議を行う。

1) 学会賞選考委員会 3回

2) 編集委員会 1回

3) 研究委員会 2回

4) 総務委員会 1回

5) 『図書館情報学事典』編集委員会 1回

6) 図書館情報学教育に資する事業ワーキンググループ 2回

(6) 会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.184(2021年4月), No.185(同年6月), No.186(同年9月), No.187(2022年2月)を発行する(印刷版郵送・PDF版メール配信)。また将来的な会報の電子化に向けた取り組みとしてSOLTIへのPDF搭載, 会員のメールアドレス登録を促進する取り組みを行う。

(7) 図書館情報学教育に資する事業の計画策定・遂行

関係団体と協力のもと, シンポジウムを開催する。

(8) 学会広報の推進

学会サイトの管理・更新(会報・メールマガジンの掲載を含む), メールマガジンの発行などを進める。

(9) 事務局業務の一部委託

会員管理, 会費管理, 発送業務等, 事務局業務の一部を2020年度に引き続き, 株式会社ガリレオに委託する。また定例(通信)総会の電子投票システムを株式会社ガリレオに委託する。これに加えて, 会計業務等の一部委託についても検討する。

(10) 学会活動への貢献に対する感謝状の贈呈

本学会の運営, 事業, 会員サービスの向上等に関して, その功績が顕著であると認められる個人会

員に、感謝状を贈呈する。

#### (11) コロナ禍対策事業

学生会員およびコロナ禍により経済的に困窮している正会員に対して、会費の全額（または一部）を補助する。また、秋の研究大会の参加費についても配慮するとともに、トラベルサポート等を検討する。

## 2. 研究促進事業

#### (1) 第 69 回研究大会の開催

第 69 回日本図書館情報学会研究大会を 2021 年 10 月 16 日（土）、17 日（日）に熊本学園大学（熊本県熊本市）にて開催する。

#### (2) 研究大会におけるシンポジウム開催

第 69 回研究大会 2 日目午後、「図書館情報学教育における遠隔授業の可能性と課題」（仮称）のテーマでシンポジウムを一般公開で開催する。

#### (3) 2021 年度春季研究集会の開催

2021 年度春季研究集会を 2021 年 5 月 15 日（土）に青山学院大学相模原キャンパス（神奈川県相模原市）にて開催する。

#### (4) 研究助成の募集・交付

図書館情報学振興のために、会員が個人として計画した研究に対し、研究の遂行ならびにその結果のとりまとめに要する経費の一部を助成する。

#### (5) 研究発表、研究発表促進のための助成

研究発表促進のために、春季研究集会または研究大会において第一発表者として研究発表（口頭、ポスター）を行う学生会員に対して交通費の一部補助を行う。

## 3. 刊行事業

#### (1) 『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第 67 巻第 2 号（2021 年 6 月）、同第 3 号（同年 9 月）、同第 4 号（同年 12 月）、第 68 巻第 1 号（2022 年 3 月）を発行する（事務局で印刷版郵送、編集委員会で視覚障碍会員向け PDF 版をメール配信）。

#### (2) J-STAGE による『日本図書館情報学会誌』の提供

『日本図書館情報学会誌』について、J-STAGE を通じて提供する。

#### (3) 『図書館情報学事典』の編集

入稿内容の調整など編集作業を進め、2023 年春の刊行を目指す。

#### (4) 『日本図書館学会年報』の遡及的電子化

『日本図書館学会年報』掲載論文（1997 年以前）の遡及的な電子化を行う。

## 4. 表彰事業

#### (1) 日本図書館情報学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

・正会員の優れた著作で 2019 年度もしくは 2020 年度に発表された単独著作を対象として学会賞を選考・授与する。

・『日本図書館情報学会誌』第 66 巻第 2 号から第 67 巻第 1 号までに掲載された論文を対象として論文賞を選考・授与する。

・個人会員（若手研究者）の優れた著作で『日本図書館情報学会誌』第66巻第2号から第67巻第1号までに掲載されたものを中心に奨励賞を選考・授与する。

(2) 優秀発表奨励賞の選考・授与

2021年度春季研究集会ならびに第69回研究大会において、優れた口頭発表を行った個人会員（若手研究者）に優秀発表奨励賞を授与する。

## 5. 連携・協力事業

(1) 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう、関係機関・諸団体との連携・協力を進める。

(2) 関連の会議情報等の周知

図書館情報学関連の会議情報等を、学会のメールマガジンに掲載する。

## 5. その他

(1) 研究倫理について整理し、会員への周知に努める。

### 第四号議案 2021年度予算案

(収入の部)

項目	予算(円)	備考
1 会費		
正会員	5,336,000	現会員 609 人×8,000 円+1 年未納分 30 件×8,000 円+2 年未納 14 件 ×16,000 円
学生会員	114,000	現会員 57 人×2,000 円
団体会員	630,000	現会員 42 機関×15,000 円
賛助会員	100,000	現会員 1 機関・1 個人×50,000 円
2 広告料	220,000	30,000 円×4 件, 25,000 円×4 件
3 学会誌売上金	1,430,100	定期購読 12,000 円×0.7×97 セット 814,800 個別購読 3,000 円×0.7×293 部 615,300
4 印税	121,600	わかる！図書館情報学シリーズ第1巻 1,800 円×30 部×0.1 5,400 わかる！図書館情報学シリーズ第2巻 1,800 円×20 部×0.1 3,600 わかる！図書館情報学シリーズ第3巻 1,800 円×20 部×0.1 3,600 わかる！図書館情報学シリーズ第4巻 1,800 円×10 部×0.1 1,800 わかる！図書館情報学シリーズ第5巻 1,800 円×40 部×0.1 7,200 『図書館情報学用語辞典第5版』 100,000
5 春季研究集会収入	0	参加費および発表論文集代金徴収せず
6 雑収入	5,772	利息 21 2020 年度研究助成対象者からの助成金の一部返金 5,751
7 前年度繰越金	9,354,040	*参考:2018 年度 4,260,978 円 2019 年度 5,961,409 円
合計	17,311,512	

7,957,472 前年度繰越金を除いた金額

## (支出の部)

項目	予算(円)	備考	
1 運営事業費			
理事会・常任理事会	391,220	交通費：理事会 173,460 円(13 人分)×1 回	173,460
開催費		交通費：常任理事会 25,760 円(4 人分)×1 回	25,760
		会議費	0
		宿泊費：常任理事会 12,000 円(1 人分)×1 回	12,000
		日当：理事会 2,000 円×25 人×2 回	100,000
		日当：常任理事会 2,000 円×8 人×5 回	80,000
会計監査実施費	38,760	交通費：31,260 円(2 人分)×1 回	31,260
		日当：2,000 円×3 人×1 回	6,000
		通信費	1,500
委員会開催費			
研究委員会	73,080	交通費：31,580 円(5 人分)×1 回	31,580
		日当：2,000 円×10 人×2 回	40,000
		通信費	1,500
編集委員会	157,560	交通費：77,560 円(6 人分)×1 回	77,560
		日当：2,000 円×10 人×1 回	20,000
		通信費	2,000
		宿泊費	0
		会議費	0
		消耗品費	30,000
		非会員査読謝礼 7,000 円×4 人	28,000
学会賞選考委員会	28,000	交通費	0
		日当：6,000 円(3 人分)×3 回	18,000
		消耗品費	10,000
総務委員会	20,000	交通費	0
		日当：2,000 円×5 人×1 回	10,000
		会議費	0
		サーバレンタル・ドメイン維持費	10,000
図書館情報学教育に資する事業ワーキンググループ	100,000	非会員パネリスト謝礼：10,000 円×3 名	30,000
		交通費：50,000 円(非会員パネリスト 3 名分)×1 回	50,000
		日当：2,000 円×5 人×2 回	20,000
『図書館情報学事典』編集委員会	34,000	日当：34,000 円(17 人分)×1 回	34,000
会報発行費	737,000	印刷費：No.184,186,187(75,000 円×3 号)+No.185	357,000
		132,000 円	
		発送手数料：20,000 円×4 回	80,000
		封筒作成費：20,000 円×4 回	80,000

事務局運営費	1,432,000	通信費： 55,000 円×4 回	220,000
		消耗品費	13,000
		通信費	53,000
		事務局アルバイト交通費	4,200
		事務局会計補助アルバイト代	19,800
		業務委託費： 株式会社ガリレオ(12ヶ月分)	1,006,000
		業務委託費： 株式会社ガリレオ通信総会システム使用料	82,500
		業務委託費： 封筒・文書印刷料	75,000
		業務委託費： 発送手数料	2,000
		業務委託費： 会費徴収手数料	60,000
		振込手数料	50,000
		感謝状作成費	6,500
		会場校会長挨拶交通費等(春季研究集会, 研究大会)	50,000
		会場校会長挨拶手土産(春季研究集会, 研究大会)	6,000
		会場校会長挨拶日当 2,000 円×2 回(春季研究集会, 研究大会)	4,000
コロナ禍対策事業費	404,000	会費補助： 正会員 8,000 円×10 名	80,000
		会費補助： 学生会員:2,000 円×(57 名+入会 5 名)	124,000
		その他(トラベルサポート費)	200,000
2 研究促進事業費			
研究大会開催費	300,000	案内発送費	100,000
		事務局支援拠出金	200,000
研究大会シンポジウム	25,000	日当： 2,000 円×6 名(委員 2 名, コーディネータ 1 名, 登壇者 3 名)×2 回	24,000
開催費		通信費	1,000
春季研究集会開催費	300,000	消耗品費	30,000
		印刷費(発表論文集印刷)	140,000
		通信費	5,000
		会議費	5,000
		アルバイト料	120,000
研究助成費	1,200,000	研究助成金 3 件	900,000
		学生会員研究発表助成金 15,000 円×20 件	300,000
3 刊行事業費			
学会誌発行費	3,016,161	印刷費： 第 67 巻第 2 号～第 68 巻第 1 号(360,000 円×4 号)	1,440,000
		発送手数料： 50,000 円×4 回	200,000
		郵送費： 60,000 円×4 回	240,000

		封筒作成費：角3封筒 2,700部	37,161
		J-STAGE 搭載費：3,300円×30本	99,000
『日本図書館学会年報』の 遡及的電子化費	1,000,000	電子化に関わる業務委託費および資料運搬等に関わ るアルバイト料	1,000,000
4 表彰事業費			
学会賞等賞金	416,500	賞金(学会賞:200,000円, 論文賞・奨励賞:各 100,000円)	400,000
賞状作成費		賞状制作費：5,500円×3件	16,500
5 予備費	7,638,231		
合計	17,311,512		
	9,673,281	予備費を除いた金額	
	-1,715,809	繰越金・予備費を除いた収支差	

## 事業および会計に関する意見

2020年度の監査において、田村監事と山本監事より事業および会計に関する意見が寄せられました。理事会で取り扱いを検討した結果、会報に掲載し会員への周知を図ることと致しました。

### 意見書

#### 1. 事業について

- ・シンポジウムの開催など、一部見送られた事業はあったものの、コロナ禍によりさまざまな制約がある中で、学会誌の発行、研究集会の開催、辞典・事典の刊行・刊行準備等、事業計画に沿って、学会をよく運営しています。
- ・コロナ禍に伴う会員の会費免除、および、日本学術会議新規会員の任命問題に関する声明の発出については、実施に関し会員にさまざまな意見があると思いますが、こうした緊急課題に対し、学会内部で議論が起こり、一定の結論に達したこと自体は、「図書館情報学の進歩発展に寄与する」（規約第3条）という学会のあり方を内発的に検討する活動として、評価すべきと考えます。また、理事会・常任理事会・事務局の努力を多とします。

#### 2. 会計について

- ・繰越金が900万円を超えています。ただし、今回は新型コロナウイルス感染症対策によるシンポジウムの中止や各種会合のオンライン開催など、予算案作成時とは大きく異なり、支出を少なくする事態が生じたため、やむを得ない面があると考えています。
- ・理由はどうであれ、900万円を超える繰越金には、何らかの対処が必要であると考えます。
- ・日当や交通費の支払いを銀行振込に切り替えたことは、会合の開催方式の多様化を考えると、当然の措置でしょうが、確認のためにメールで領収証の提出を求めることは、単に学会事務を煩瑣にするだけなので、止めるべきです。監査用には銀行の振込明細書で十分です。

監事 田村 俊作

## 監事意見書

### 0. 監査作業の前提

事前に郵送された 93 頁の資料，当日配布の 5 枚の追加資料，および関係帳票の実物もしくは写しを収納した超部厚いクリアファイルホルダー 2 冊を参照しながら事業監査，会計監査を行った。13:00 に開始して，休憩なし，終わったのは 16:00 ジャスト。

本学会の 2020 会計年度末（2021 年 3 月末日）の会員数は，総体として減少傾向にあり，現員は正会員 608，学生会員 58，団体会員 42，賛助会員 2 で会員総数は 710 を数える。文科系の学会としては中規模といってよい。財務的には，2020 年度の年間収入は 8,472,557 円，年間支出は 5,079,926 円で，2020 年度の単年度で 3,392,631 円の内部留保が積みあがったことになる。2021 年度への繰越金の総計は 9,354,040 円にのぼる。もっともこの大きな余剰金発生の背景にはコロナ・パンデミックが大きく影響しており，COVID19 が収束すれば本学会の活動が正常化するであろうし，事務処理の在り方も，少なくない会計処理もネット上からリアルの世界に戻る。

### 1. 会計監査について

コロナ・パンデミックに見舞われた 2020 年度は，春季研究集会，秋の研究大会（シンポジウムは見送り）ともにオンライン開催で行われ，ソフトウェア使用料はドル建てで支払われたが，リアルのものとは異なり，予算を大きく下回る経費支出にとどまった。常任理事会，理事会，各委員会等もオンライン会議で交通費等が発生せず，安上がりすんだ。学会誌，会報は順調に発行された。これらの会計処理は，金井事務局長の手元で維持・調製されている 2 冊のととも部厚いクリアファイルホルダーに整理されている帳票チェックで，適正に執行管理されたことが確認された。

問題点としては，実質ひとり事務局で，事務作業の負担軽減を目的に(株)ガリレオに事務作業をアウトソースしたにもかかわらず，決算等の作成事務にかなりの負担が発生していることが指摘できる。また，コロナ・パンデミックによって，オンラインで開催される各会議に参加された委員等に対して振り込まれた謝金等の支払いについて，メールで領収証を受け取ることとされており，これが部厚いクリアファイルホルダーの 1 冊を占める。リアルの会議であれば，会議の時に出席者から直接領収証の受け取りが可能であるが，メール処理では面倒なのであろう，事務局からの督促にもかかわらず，一定数の委員等の領収証メールの送信が常識を超えて遅延している。謝金等の収受については，間に信頼できる金融機関が介在するので，領収証の有無にかかわらず，キャッシュの移動があったことが振込票等によって客観的に証明される。このことはコロナ・パンデミックにかかわらず，通常のもともな金銭の収受，取引状況に応用可能である。いまひとりの監事，田村先生も指摘されているように，事務局からの振込の事実が金融機関等の発出する文書・帳票等によって明らかである場合には，受取人の領収書を不要とするルールが創設されることが望ましい。そうすれば，事務局の負担も大幅に軽減され，これまで事務局で慣行的に維持調整されている 2 冊のうちの 1 冊の部厚いクリアファイルホルダーが消えてなくなることになる。

会計監査の結果，相当の業務上の，また心理的にも大きな負担に耐え，適正に金銭の受入れ，支出がなされていることを，幹事の一人として確認できた。

### 2. 事業監査

コロナ・パンデミックによって，社会経済全般の動きが委縮しているのはやむを得ない。本学会もまた研究大会等，種々の活動がオンライン 1 本に切り替わっており，コミュニケーションの総量が減少しており，財務的には支出が減少している。各種会議がオンラインになると決まりきった発言と応答がセ

ットになり、自由闊達なふくらみのある意見・感想の応酬は難しい。COVID19 が収束してもオンラインの会議・コミュニケーションは残り、オンラインとリアルハイブリッド・コミュニケーションが常態となるように思われる。そのような趨勢の中で、本学会においては、今後何らかの会員間・委員等の間でのコミュニケーションの手段と内容を豊富にする方策が模索されることが望ましい。

それから、これは会計監査のところで書くべき事柄であるかもしれないが、田村先生も指摘されているように、結果的に900万円を超える剰余金が2021会計年度に繰り越されることになった。通常の活動に伴う財務の規模、800万円程度に匹敵する金額である。これは2020年度に新たに実施されたプログラムであるが、非常勤講師等で食いつながざるを得ない研究者、お手元不如意の大学院生などを救済する会費の減免、研究活動支援のためにファンドを形成するのも一案であろう。この国の歴史的にも珍しい長期にわたるデフレ経済において雇用状況の改善は難しく、優秀な大学院生を研究に誘う仕組みにも見るべきものはない。ささやかな資金であるが、有効活用する方途を探っていただけることを期待する。

学会も民主主義社会の一員で、政府その他の組織団体の在り方に問題があるときには、声を上げるべきだと思う。アメリカ図書館協会は図書館サービス業務を阻害する政府の活動を定めた米国愛国者法に対して強力に反対し、また子どもをインターネットから保護する法律については連邦政府を相手取って訴訟を提起し、原告となっている。本学会も学術会議の一件につき、理事会や一部の会員の合意を得て声明を公表できたのは、当然であろうが、一部に全体主義的な空気と運動が見られるこの国において、民主主義を旨とする一学会として評価できると思う。間違っても‘神ながらの図書館情報学’を講じてはいけなし、公権力の奴隷となることもご法度、真理と真実をもとめるフェアな研究活動を追究し、社会に向け、学会としての発言を続けてほしい。

事業監査についても、事務局をはじめ、会長等の学会役員、理事会、各種委員会の業務執行の透明度は高く、問題ないものと確認できた。

### 3. 早急に改善・検討することが望まれること

以上、膨大な関係資料の閲覧と金井事務局長との質疑で得た情報から、監事としての意見と感想を述べた。それを踏まえて、うえにもすでに指摘したことであるが、早期に取り組むべき事柄を最後に箇条書きで示しておきたい。

- ① 事務局からの振込の事実が金融機関等の発出する文書・帳票等によって明らかである場合には、受取人の領収書を不要とするルールが創設されることが望ましい。
- ② 事務局とアウトソースしている(株)ガリレオとの業務の分担関係を再検討し、多少の支出増が見込まれても、事務局の負担の軽減を目指すこと。いまの事務局の業務量を考えれば、改善されない限り、事務局の引き受け手がなくなることが懸念される。(わたしの経験から言えば、かつての各分野の学会事務局は、事務局設置大学にその分野を専攻する複数の専任教員がおり、多数の大学院生を手足として構成されることが常態であったように思う。そのような事務局を構成できなくなったことが(株)ガリレオのような学会業務支援企業の叢生を産んだ。ひとりぼっち専任教員学会事務局を会員で盛り立てる仕組みが不可欠であろう。)
- ③ コロナ・パンデミックの結果、仕組まずして内部に積みあがった900万円超の資金の善利用を衆知を集めて検討すること。

監事 山本 順一

## コロナ禍対策事業について

2021年5月  
日本図書館情報学会 理事会

新型コロナウイルス感染拡大および非常事態宣言発出等の状況に鑑み、経済的な影響が大きい非正規雇用の正会員および学生会員の経済負担を軽減するため、2020年度に引き続き2021年度も会費の補助（全額または一部）を行います。

### ・申請方法

1. 補助を希望する正会員は、メールで事務局窓口（secretariat@jslis.jp）に申し出ること。  
記載事項：名前、メールアドレス、（分かれば）会員番号、申請理由（簡単に）
2. 学生会員は申請不要である。また、全額補助となるので、2021年度会費は振り込まないこと。（「学会誌」6月号に同封の振込用紙は廃棄すること）

### ・申請期限（正会員のみ）

2021年8月31日まで。

### ・手続き

審査後、メールで採否および補助額を通知する。

※【重要】通知があるまで、2021年度の会費を振り込まないようお願いします。

### ・その他

すでに2021年度会費を納入されている方へ

正会員で補助を希望する場合、事後、返金手続きをとります。

学生会員には返金手続きをとります（新入会員の入会金は納めていただきます）。

いずれも、後日、事務局から口座の確認連絡をさし上げます。

過年度未納のある方へ

正会員で補助を希望する場合、未納分の督促を中断いたします。

学生会員も同様です（ただし「督促の連絡」は未納の方全員に発信されます）。

## 第69回研究大会のご案内

研究委員会／第69回研究大会事務局

第69回日本図書館情報学会研究大会を下記のとおり開催いたします。なお、コロナ禍の状況に応じて、開催方式などを変更する場合は、別途にお知らせいたします。

### 開催要領

日 程： 2021年10月16日（土）、17日（日）

会 場： 熊本学園大学 11号館

事務局： 〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号  
熊本学園大学 商学部 山田美幸研究室内

日本図書館情報学会第 69 回研究大会事務局

Tel : 096-364-5161 (代表) (内線 1505)

E-Mail: jslis69@kumagaku.ac.jp

参加費： 会員（正会員・学生会員），非会員の学生は無料，学生以外の非会員は 3,000 円

懇親会： コロナ禍にあるため，実施いたしません。

### 宿泊案内

研究大会事務局では宿舍の斡旋はいたしませんので，ご了承ください。

列車や宿泊場所の手配は，各人をお願いいたします。

### プログラム（予定）

10 月 16 日 (土)		10 月 17 日 (日)	
12:30-13:00	受付	9:00-9:30	受付
13:00-13:15	開会式	9:30-11:30	口頭発表
13:30-17:00	口頭発表	11:30-13:00	ポスター発表，昼食
		13:05-14:05	会員集会，学会賞等授与式
		14:15-16:55	シンポジウム
		16:55-17:05	閉会式

- ・ 大会 2 日目の昼に「ポスター発表」を実施します。発表申込と当日の参加をお願いいたします。
- ・ 大会 2 日目の午後には「会員集会」を開催いたしますので，ぜひご参加ください。
- ・ 大会 2 日目のシンポジウムについては，「図書館情報学教育における遠隔授業の可能性と課題」をテーマとして開催予定です。シンポジウムは一般公開といたしますが，シンポジウムのみ参加の方も事前申込が必要となります（参加申込フォームは後日，学会ウェブサイトでご案内します）。

#### ■ 発表募集要領

- (1) 応募条件：日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合，第一発表者が正会員または学生会員であること）

研究発表の申込は，申込時点で既に正会員・学生会員である者に限ります。申込時点で入会が承認されていない場合は，研究発表の申込はできません。発表を希望する方で，未入会の方は，発表申込締切前に入会申込締切日となる 7 月 20 日（火）までに入会申込を行い，入会の承認通知が届いた後に，発表の申込をしてください。

- (2) 発表形態と発表時間

- ① 口頭発表：1 件 30 分（発表時間 20 分，質疑応答 10 分）
- ② ポスター発表：1 セッション 90 分。このうち，発表者は指定された 30 分間，ポスター付近に立ち発表内容を適宜説明する必要があります。

注意：第一発表者として口頭発表 1 回，ポスター発表 1 回申し込むことができます。ただし口頭発表 1 回，ポスター発表 1 回を同じ内容とすることはできません。発表形態は，申込時に発表申込申請フォームで「口頭発表希望」か「ポスター発表希望」にチェックを入れてください。口頭

発表とポスター発表を各1回申し込む場合は、それぞれに申請してください。

- (3) 発表言語：日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も、発表申込、発表論文作成、発表、発表概要提出まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが、多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み、基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。
- (4) 申込方法：学会ウェブサイトから発表申込申請フォームにアクセスの上、申し込んでください。なお、受理された申込書は ウェブサイトで公開する予定です。
- (5) 申込締切：2021年8月16日(月)24時必着  
申込直後に申込を受け付けた旨のメールを送付します(受理の連絡は別途、メールにて通知します)。申し込んだにもかかわらずメールが届かない場合、トラブルの可能性がありますので、研究委員会(kenkyu@jslis.jp)まで連絡してください。
- (6) 発表論文の提出：発表申込が受理された場合には、A4判で口頭発表は4枚、ポスター発表は2枚の発表論文を作成し、2021年9月16日(木)までに原稿を研究委員会ウェブサイトを送っていただきます。なお、発表論文提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。発表論文の作成方法などに関しては、発表申込受理者に連絡します。
- (7) 発表のための機材と資料等
  - ① 口頭発表：パソコンによるディスプレイ(PowerPoint)装置が使用できます。その他の機材をご要望の場合には、研究委員会(kenkyu@jslis.jp)まで問い合わせてください。当日の資料配布は、原則として認めていません。詳しくは、「研究大会・春季研究集会における発表のルールについて」をご確認ください。
  - ② ポスター発表：ポスターのサイズはA0縦です。資料配布は自由です。ノートパソコン等によるデモンストレーションが可能です。電源は利用できません。パソコンを置くための台を希望する場合は、申込時に発表申込申請フォームの備考欄に「ポスター発表用PC台希望」と記入してください。
- (8) 優秀発表奨励賞  
対象は第一発表者として口頭発表を行った若手研究者(目安として研究歴10年以内)とします。授与のための審査を希望する者は、自己申告(発表申込申請フォームの「優秀発表奨励賞審査希望」にチェック)してください。発表内容、発表技法の観点から、優秀発表奨励賞選考委員会で審査を行った結果、優れた口頭発表を行い、将来の活躍が期待される若手研究者(正会員、学生会員)に授与します。受賞者は、学会ウェブサイト並びに学会誌に掲載される研究大会・春季研究集会概要において公表されます。
- (9) 交通費等一部補助  
以下の要領で発表を行うための費用補助を行います。希望される方は申請してください。
  - ① 対象者：第一発表者として研究発表(口頭、ポスター)を行う学生会員
  - ② 人数：希望者全員
  - ③ 申請基準  
自宅または通学する大学の最寄駅のうち研究集会開催校の最寄駅に近い方を起点として、研究集会開催校の最寄駅まで片道300km以上であること。
  - ④ 申請方法  
学会発表申請システムの「研究集会参加のための交通費一部補助希望」欄にチェックを入れ、自宅または通学する学校の最寄駅のうち、研究集会開催校の最寄駅に近い方を申告する。

⑤ 補助額：一律 15,000 円

⑥ 支給時期と方法

研究集会で研究発表を確認後、1 週間以内に事務局から振り込む。なお、支給した者に振込確認後、受領書の提出を求める。

⑦ 補助に際してのルール

- 1) 申請は単年度あたり 1 人 1 回に限る。
- 2) 研究発表を取りやめた場合は支給しない。
- 3) 本制度で賄えない残りの交通費等を補うために、併せて他機関から補助を受けることを認める。

#### ■ 研究大会・春季研究集会における発表のルールについて

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ、発表申込をしてください。

- (1) 個人会員（正会員・学生会員）は研究大会および春季研究集会において発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において第一発表者（＝発表論文の第一著者）として口頭発表 1 回、ポスター発表 1 回申し込むことができる。
- (4) 共同研究の第一発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 口頭発表の登壇者は、原則として発表論文の第一著者とする。
- (6) 発表論文の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (7) 発表者は発表申込申請フォームから発表論文をアップロードする際、本学会が教育・研究の目的で発表論文を印刷物およびウェブ等の電子メディアで使用することを許諾するものとする。
- (8) 指定の期日までに発表論文を提出しなかった者は、発表を取り下げたものとみなす。
- (9) 発表申請受理後のプログラム(発表タイトル、発表者、発表内容、発表スケジュール)の変更は原則として認めない。
- (10) 発表当日の資料配布は、原則認めない。何らかの理由で資料配布を希望する場合は、発表当日の 1 週間前までに研究委員会宛に、資料に配布の理由を添えて申請し、許諾を得る。資料配布が認められた場合は、印刷・配布・残部回収は発表者自身で責任をもって行う。ただしポスター発表においては、資料配布は自由とする。

#### ■ 発表者への諸注意

口頭発表者

- (1) 発表会場へは遅くとも、セッションの始まる 10 分前には到着するようにしてください。
- (2) 会場の備え付けの発表用 PC に発表用ファイルをコピーしてください。また、セッションを円滑に進行するため、発表者は会場前方に着席してください。
- (3) 本学会発表では、原則として会場に備え付けの PC での発表としています。持ち込み PC の利用が必要となる場合は、発表申込申請フォームの備考欄に＜PC のつなぎかえの希望＞について、必ず明記して下さい。事前申請を行わなかった場合、他の発表者の不利益になる可能性があるため、持ち込み PC のつなぎかえはできません。

ポスター発表者

- (1) ポスターは、セッションの始まる 10 分前までに掲示してください。指定した時間までにポスター

を貼付できない場合は、発表を辞退したものと見なします。

- (2) 掲示するための用品は事務局が用意したものを使用してください。
- (3) セッション終了後、閉会式までに掲示を撤去してください。
- (4) セッション中、発表者は、指定された時間帯にポスターの前に立ち、参加者に研究内容の説明ならびに質問への回答を行ってください。

## 2021 年度 研究助成について

2021 年度の研究助成について 3 件の応募があり、研究委員会にて審議いたしました。

審査は、例年の手順・方法を踏襲し、あらかじめ定めた評価基準に従って研究委員が採点した結果を総合して、助成対象を決定することにしました。評価は、申請者が特定されないよう、氏名等個人が特定される情報を伏せて、申請者名を知りうる立場にある研究委員を外して行いました。評価基準は科学研究費に準拠して、(1) 研究目的の明確さ、(2) 研究の独創性、(3) 遂行可能性、(4) 成果の公表可能性、(5) 申請金額の妥当性、(6) 研究組織の適切性、の 6 点を参考に、5 段階で総合点をつけ、総合点の平均が 3 点以上を助成の最低基準とし議論を行いました。会報原稿の締め切りの都合上、結果は学会ウェブサイトで発表しております。ご確認ください。

(研究委員会)

## 会報電子化に向けた取り組みについて

日本図書館情報学会の会報については現在印刷体での発行ならびにご登録頂いているメールアドレスへの送付を行っております。また会員異動情報を削除したバージョンをウェブサイトに掲載しています。

前期常任理事会からの引き継ぎ事項として「将来的に「会報」を全面的に電子化し、総務委員会が担当する方向で検討する」との引き継ぎ事項があり、総務委員会では検討を行って参りました。

検討の結果、以下の理由から電子化に向けた取り組みを行うことが必要であることが確認されました。

- 印刷会社を通じた印刷体の作成において、原稿製作スケジュールの制約にとまらぬ原稿作成作業ならびにとりまとめ作業が学会役員の大きな負担となっていること。
- 全会員へ情報を周知するメディアとして印刷体の会報が使われているが、緊急性の高い内容について、印刷体の発行スケジュールでは対応が難しい状況が生じていること（2021 年度の学会声明に対する対応、春季研究集会の会場確定に伴う臨時号の発行など）。
- 学会の委託先システム SOLTI に、会員向けの会報掲載システムが含まれていること。
- PDF 版のメール配信については、既に会員全員に対して実施されており、メールアドレス不明の場合を除いて大きなトラブルは生じていないこと。

総務委員会での議論の結果、将来的な電子化に向けた取り組みを行うことを決定いたしました。また、2021 年度第 1 回常任理事会ならびに 2021 年度第 1 回理事会で報告を行い、了承されました。

今後 2021 年 10 月発行の会報より、電子メールでの配信に加えて会員情報管理システム<SOLTI>での会報配信を試験的に実施いたします。また研究大会と同時開催される会員集会での意見交換を行い、

早ければ 2022 年 4 月の発行の会報より、印刷体の発行を取りやめることを検討しております。

会員の皆様には、会報が確実に受け取れるよう正確な電子メールアドレスの登録をお願い申し上げます。また会報電子化に向けた取り組みについてご意見がありましたら、以下のメールアドレスもしくは宛先までご連絡ください。

〒182-8525 東京都調布市緑ヶ丘 1-25  
白百合女子大学今井福司研究室内 日本図書館情報学会総務委員会  
somu@jslis.jp  
(総務委員会)

## 役員会等の記録

### 2021 年度第 1 回常任理事会（開催記録）

日時：2021 年 4 月 25 日(日)13:00～15:00

場所：Webex によるオンライン会議

出席者（敬称略）：岸田，三浦，青柳，安形，浅石，今井（記録），金井，小泉

欠席者：なし

1. 2021 年度第 1 回理事会の議題整理
2. 2020 年度事業報告および決算報告，2021 年度事業計画(案)および予算案の検討
3. その他

### 2021 年度第 1 回理事会（議事抄録）

日時：2021 年 5 月 16 日（日）13:00～15:15

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者（敬称略）：岸田，三浦，浅石，安形輝，青柳，今井（記録），金井，安形麻理，池内淳，池内有為，池谷，岩崎，河西，河村，須賀，瀬戸口，福井，松林，松本，宮田

欠席者：小泉，影浦，常世田(以上，議決委任)

列席者：田村(監事)

#### < 報告事項 >

1. 2021 年度の会員・会費状況

事務局長から、資料に基づいて説明が行われた。年度末退会者の扱いについて退会後の数字を掲載するように変更した旨、補足された。

2. 常任理事会，理事会議事録確認

前回理事会開催後の理事会，鋤雲理事会の議事録について確認が行われた。

#### < 協議事項 >

1. 2020 年度事業報告

会長より、資料に基づいて 2019 年度の事業報告の説明があり、審議を行った。

2. 2020 年度会計報告

事務局長より、資料に基づいて 2019 年度の決算報告の説明があり、審議を行った。

### 3. 2020年度監査報告

田村監事より、事業報告について「学会活動が適切に運営され、活動計画が適切に行われている」という監査報告がなされた。また田村監事より会計報告に関して、証憑の整理、帳簿の記帳などの会計処理が適正に行われていた旨の監査報告がなされた。その後、田村監事、山本監事による事業・会計に関する意見が報告された。

### 4. 2021年度事業計画（案）

会長より、資料に基づいて2021年度事業計画案の説明があり、審議を行った。審議の結果、原案を承認した。

### 5. 2021年度予算案

会長より、資料に基づく説明があり、審議を行なった。質疑の結果、資料の修正が生じたため、関連する数字の訂正を行った上で、承認した。

### 6. 2019年度決算の資料訂正

事務局長より、2019年度決算において、収入の部と支出の部に示した年月日の記載について誤りがあったため、訂正したい旨の提案があり、了承された。

#### <懇談事項>

### 7. 会報の電子化について

今井総務委員長から、前期から引き継いだ会報電子化について、ガリレオが提供している会員システム SOLTI を使った会報の電子版掲載の案が示された。質疑応答を経て、原案通りのスケジュールで進めることが確認された。

### 8. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う学会イベントの開催について

研究集会および研究大会の開催方式について意見交換を行った。

## 委員会・事務局より

### 『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」、「執筆要綱」、「『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール」をご参照ください。

すでに会員集會でお伝えした通り、2021年4月1日受付分より「文献展望」が査読つき原稿となり、再査読の回数が現行の「2回」から「原則1回」となります。また、編集委員会では査読者向けのガイドラインとなる「日本図書館情報学会査読綱領」を作成しました。これらについては、学会ウェブサイトでご確認ください。

(編集委員会)

- ・ 投稿先：日本図書館情報学会編集委員会 (journal@jslis.jp)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』投稿規程 2021年4月1日改訂  
<https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/01/tokokitei20210401.pdf>
- ・ 『日本図書館情報学会誌』執筆要綱 2016年10月8日改訂  
[http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w\\_out\\_161008.pdf](http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w_out_161008.pdf)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール 2021年4月1日改訂

<https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/01/rule20210401.pdf>

- ・ 日本図書館情報学会査読綱領 2021 年 4 月 1 日改訂

<https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/03/sadoku20210401.pdf>

#### 視覚障害者への学会誌 PDF 版の提供について

視覚障害者の会員の方に『日本図書館情報学会誌』の PDF 版データを提供いたします。ご希望の方は、事務局 (office@jslis.jp) までメールでご連絡ください。お心当たりの方は、対象となる会員の方にお声かけいただければ幸いです。事務局より、障碍の程度をお伺いした上で、提供いたします。

(編集委員会)

#### J-STAGE 上での『日本図書館情報学会誌』の閲覧方法について

発行後 1 年以内の『日本図書館情報学会誌』に掲載された論文を J-STAGE 上で閲覧するには、J-STAGE のウェブサイトにてサインインする必要があります。サインインあたっては、購読者番号とパスワードの入力が求められます。購読者番号は学会の会員番号 (4 桁の数字) で、パスワードは入会当初のパスワードになります。会員番号や入会当初のパスワードが不明の場合には、事務局 (office@jslis.jp) までお問い合わせください。

(事務局)

#### メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会まで電子メール (somu@jslis.jp) にてご連絡ください。なお、掲載を希望する方は、PDF の添付ではなくメール本文に掲載内容を記してお送りください。

(総務委員会)

#### 2021 年度の会費納入について

2021 年度の会費払込用紙は 6 月号の学会誌に封入されておりますので、そちらを利用して支払をお願いいたします。クレジットカードでの支払についても 6 月号の学会誌発送と同タイミングで可能となります。

#### 未納会費の納入について

2020 年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2019 年度までの会費を未納の場合は、2020 年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を 3 年滞納した会員 (学生会員は 2 年) については、その年度末 (3 月 31 日) に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。

また、学生会員で 2021 年 4 月から所属が変わり正会員へ変更となる方については、判明後、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が 2,000 円から 8,000 円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いいたします。

ただし、前年度と同様に 2021 年度も「コロナ禍対策事業」として 会費の補助があります。詳しくは「コロナ禍対策事業について」(本紙 p.17) をご参照ください。

#### **【振り込み先】**

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019 店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会  
なお会費は、下記のサイトへログイン後、クレジットカードによる支払い（もしくは決済）が可能です。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

(事務局)

#### 会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム (SOLTI) から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページに掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局 (office@jslis.jp) までメールでお送りください。

また会員種別の変更については、(1) 正会員から学生会員への変更の場合、当該年度の 4 月 20 日までに事務局に申請する必要があります。それ以降に申請しても、その年度は変更されません。(2) 学生会員から正会員への変更の場合、随時、事務局で申請を受け付けます。ただし、受付の時期によっては、正会員の権利の行使が制限されることがありますので、ご注意ください。また、受付後に年会費の差額を申し受けます。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局 (office@jslis.jp) までご連絡ください。毎年 3 月 20 日までに申し出がない場合、翌年度末での退会となり、1 年分の会費請求が発生しますのでご注意ください。

(事務局)

### 学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。(編著者名の五十音順)

- ・ 田辺智子 著『図書館評価の有効性』明石書房，2021
- ・ 日本図書館協会『日本の図書館の歩み：1993-2017』編集委員会 編『日本の図書館の歩み：1993-2017』日本図書館協会，2021
- ・ 原田智子 編著『情報サービス演習』三訂，樹村房，2021

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局（相模女子大学金井研究室）まで 1 部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

(事務局)